

Ⅱ. 4. 大阪大学言語文化学会・大阪大学言語社会学会

○言語文化学会活動

2018（平成30）年6月28日 大阪大学言語文化学会第53回大会

（2018年度春季 大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会）

<研究発表>（ ）内は所属の学会

西村 僚之佑（言社）「モンゴル語の格語尾 - a a p 格の意味用法に関する一考察」

黄 勇（言社）「現代中国語の感情表現をめぐる構文研究—“SVO”型を中心に—」

徐 淑丹（言社）「日中原因節における認識モダリティの主観性について」

服部 拓哉（言文）“Sur la prononciation réelle des modèles intonatifs non conclusifs dans les phrases assertives en français”

佐川 祥予（言文）「循環する2つの語りと関係性の構築—日本語教育の現場から—」

長谷川 泰子（言文）「翻訳シフト分析の有効性と限界—翻訳教育の視点から—」

宋 新亜（言社）「反抗としての「沈淪」～「舞姫」から見た郁達夫における“憂鬱症”の意味～」

高 曉琳（言社）「1950年代の日本における趙樹理文学の受容」

夏 麒（言社）「『妮儂』から『魔道』へ」

趙 洋（言文）「構築主義のジェンダー観から英文和訳における女性語の増訳を考察する—The Age of Innocence の May の言語使用を中心として—」

林 桂生（言文）「オートエスノグラフィーの可能性」

李 潤澤（言文）「戦時映画雑誌『満州映画』にみる女性スターたち—日文版と満文版の比較から—」

寺浦 麻由（言文）「『金閣寺』の英語翻訳における「建築」イメージの考察」

<総会>

1. 2017年度活動報告

2. 2017年度会計報告

3. 2018年度予算案

4. 2018年度役員・委員

【役員】会長：木村茂雄、副会長：伊勢芳夫、監事：井元秀剛、由本陽子

【教員委員】委員長：小口一郎、副委員長：中直一、会計委員：大神雄一郎、

企画・編集委員：大神雄一郎（事務局担当）、小川敦（秋季大会担当）、小葉哲哉（書記担当）、佐藤彰（学会誌担当）、中村綾乃（春季大会担当）、由

本陽子（秋季大会担当）

【院生委員】 大井良友、大谷修樹、坂場大道、孫靖、安井翼

5. 2018 年度活動予定

6. 「会則」の改定

7. その他

2018（平成 30）年 10 月 27 日 大阪大学言語文化学会第 54 回大会

（2018 年度秋季 大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会）

<研究発表>（ ）内は所属の学会

Pankratova, Snezhanna（言社）「外国人保護者の家庭内言語教育方針—母語・母国語・日本語・英語の選択を中心に—」

下田 一成（言文）「メディアの創造する甲子園の「物語」に関する研究～夏の甲子園大会における朝日新聞の社説の分析を中心に～」

久保 和真（言文）「ウジェーヌ・アジェの語られないプレ・モダン—「街角の人々」のシリーズを中心に」

林 桂生（言文）「生きづらさのオートエスノグラフィー—LGBT の ASD（自閉症スペクトラム障害）者—」

趙 洋（言文）「英文和訳における女性語の増訳から見られるジェンダー・アイデンティティの変化—The Great Gatsby の Myrtle の階級意識をめぐって—」

福本 広光（言文）「分離不定詞とレトリックリズムとの関連についてのケーススタディー」

後藤 秀貴（言文）「精神作用を表す「腹」の比喩的意味の広がりについて—通時的観察と認知言語学的分析—」

高 娟（言社）「量的考察の結果をいかに複合動詞の現場指導へ応用するか—学術論文において使用頻度の高い複合動詞を試みとして—」

呉 恵卿（言文）「IT を活用した日韓語学交流授業の事例」

松宮 正義（言社）「Don DeLillo の Zero K におけるゼロの逆説」

銭 蕾（言文）「中国におけるヤオイの受容状況—ノルウェーの青春ドラマを例に—」

徐 玉（言文）「増村保造の映画『卍』におけるレズビアン表象—谷崎潤一郎の原作小説との比較から—」

西岡 恒男（言社）「映画における『美女と野獣』—クリストフ・ガンズ版（2014）を中心に—」

2019（平成 31）年 3 月 31 日『言語文化学』第 28 巻発行

<査読者>

今尾康裕、榎本剛士、岡田悠佑、越智正男、片山泰一、木原善彦、小杉世、霜鳥慶邦、
瀧田恵巳、田村幸誠、津田保夫、難波康治、林千宏、福田覚、三藤博、三浦あゆみ、村
岡貴子、村上スミス・アンドリュース、山下仁、山本佳樹、ヨコタ・ジェリー、力武京子、
渡邊伸治、渡辺秀樹

○『言語文化学』第 28 巻（2019）目次

論 文

- ・日本語教育文法としての文の階層構造 —学習者の「も」の使用から—
..... 榎原 実香
- ・生きづらさのオートエスノグラフィー —性別違和を伴う勤労中高年 ASD（自閉症スペ
クトラム障害）者— 林 桂生
- ・David Foster Wallace 初期作品における後期ポストモダン文学批判と他者の探求
..... 桑原 拓也
- ・外国人妻のナラティブにみるアイデンティティの揺れ—在日モンゴル人女性を事例
に — オユナー ノミン
- ・接尾辞「上（じょう）」を後要素とする語の機能—機能の移行と移行の条件につい
て— 張 希西

○言語社会学会活動

大阪大学言語社会学会記念学術講演会

日時： 2018年6月28日（木）13時30分～14時50分

会場： 大阪大学外国学図書館AVホール（箕面キャンパス）

講師： 西村成雄先生（大阪大学名誉教授・放送大学客員教授）

講演タイトル： 2000年中国から政治体制の変動を読み解く